

業務サーバリプレイスに伴うクラウドマイグレーションに関する情報提供依頼(RFI)

1. 依頼の背景と目的

紀北町(以下、「本町」という。)では、令和 9 年度末に業務サーバのリプレイスを予定しており、その更改にあたっては、パブリッククラウドサービスを含めた最適なクラウドの利用を検討しております。

昨今の人件費・物価の高騰や為替の影響などにより、現在オンプレミス環境で構築している業務サーバをそのままの形でリプレイスした場合に、次期更新費用・維持費用が高騰する可能性があることから、コスト最適化を図ることができる可能性があるクラウドサービスの導入を視野に入れ、最適なシステム構築に向けた検討を行うことを目的とします。

また、本町は南海トラフ地震による津波浸水想定区域内に位置しており、庁舎が被災した場合の事業継続性(BCP)の観点からも、耐災害性の高いクラウドサービスの活用を検討しています。

なお、クラウドサービスの選定にあたっては各クラウドサービスにおける技術要件や提案内容等を総合的に評価し、本町にとって最適なサービスを選定してまいります。

2. 情報提供依頼の内容

下記の項目について、貴社の知見に基づき、実現性や費用対効果などを含めた情報提供をお願いいたします。

2.1. クラウドサービスの提案

- パブリッククラウドサービスの採用にあたっては、現行システムの要件を満たす、ISMAPクラウドサービスリストに登録されたクラウドサービスの提案としてください。
- 「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和 6 年 10 月版)」に準拠した内容としてください。
- 当該クラウドサービスの選定理由、メリット・デメリットなどを記述してください。
- パブリッククラウドの利用に必要なアカウントの所有について、町での所有と事業者様での所有、それぞれにメリット・デメリットがある場合は、それについてご記載ください。なお、概算見積書作成に影響がある場合は、事業者様での所有を前提として概算見積書を作成してください。

- 本町が現在導入しているソフトバンク株式会社の SmartVPN および OnePort を使った導入が可能なクラウドサービスを記述してください。
- 今回の情報提供依頼は、項番 1.『依頼の背景と目的』に記載のとおり、現行のオンプレミス環境の次期更新時の更新費用・維持費用の高騰が懸念されることによる運用経費の圧縮が大きな目的のひとつであり、クラウドサービスのみを検討しているわけではありません。オンプレミス構成や事業者様所有のデータセンターを活用したクラウド、オンプレミスとクラウドのハイブリッド構成など、費用面でメリットが見込める提案も歓迎します。また、複数のプランのご提案も歓迎いたします。

2.2. 移行計画の提案

- 現行システムのクラウドサービスへの移行手順、スケジュールなどを分かる範囲で記述してください。
- 現時点で想定している切り替え期日は以下のとおりです。ただし、本 RFI の結果等も踏まえて今後のスケジュールを決めていくため、確定ではございません。
 - 令和 9 年度 4 月～5 月：事業者選定、契約、着手
 - 令和 10 年 1 月末：構築作業完了
 - 令和 10 年 2 月～：新業務サーバの試行運用開始
 - 令和 10 年 3 月 31 日：現行業務サーバの賃貸借終了
 - 令和 10 年 4 月 1 日～：次期業務サーバの本稼働開始

2.3. ネットワーク構成およびシステム構成図の作成

- OnePort からクラウドサービスまでのネットワーク構成図およびシステム構成図を作成してください。
- 冗長構成は必須ですが、コスト効率を優先させたいため、原則マルチ AZ 冗長構成でのシステム構成図を作成してください。
- 障害があった際には最大でおよそ 2 時間程度までのシステム停止は許容しますので、それを踏まえた上でコスト面でメリットがある構成としてください。マルチ AZ 冗長構成以外の構成の方がコスト面でメリットが出る場合は、そちらをご提案ください。
- システム構成図については、現行業務サーバに構築された仮想サーバをそのままクラウドに移行する想定で作成してください。

2.4. 概算見積書の作成

- 項番3「本町のシステム利用環境」に記載した現行の仮想サーバに構築された業務システムをそのままクラウドに移行するという想定で概算見積を作成してください。

- 本事業における作業範囲はクラウド上への基盤構築と現行業務サーバの移行を想定しています。動作確認は現行システム保守ベンダーと町において実施する予定です。
- 本 RFI の結果を持ってクラウドマイグレーション事業に係る予算計上を行うものではなく、今回はクラウドサービスを利用することによるおおまかな費用感を知ることが目的です。
- 予算計上を行う際は後日改めて協力依頼をさせていただきます。
- 構築費用と5年間のランニング費用(クラウド利用料、運用保守料、など)を区分して記載してください
- ランニング費用を算出するにあたって稼働時間が必要となる場合は、「365 日 24 時間稼働」と「週83 時間稼働」の2パターンの料金を算出してください。「週83 時間稼働」の根拠は、月曜から金曜は毎日 7:00～22:00 の15 時間稼働、土曜と日曜は平均していずれか1日、9:00～17:00 の8 時間稼働を想定しており、15 時間/日×5 日+8 時間/日×1 日=83 時間/週 としています。
- 費用算出にあたり、ドル建ての場合は 160 円/\$で換算してください。
- インスタンス選定時の工夫やマネージドサービスの活用等、コスト最適化にあたって有効な手法がある場合は積極的に提案してください。
- 項番2.1『クラウドサービスの提案』の4項番目にも記載の通り、アカウントは事業者様で所有することを条件として作成してください。ただし、アカウントの所有者については事業者様側として決定しているものではございません。
- 原則として、コスト効率が良いマルチ AZ 冗長構成での費用算出をお願いします。ただし、費用算出のために追加で前提条件が必要となる場合は、別途お問い合わせください。
- マルチ AZ 冗長構成以外の冗長構成で費用面において有利となるパターンがある場合は、その旨を記載した上で提案してください。
- 複数の構成案による見積書の作成も歓迎します。
- その他、見積書を作成するにあたって必要とする情報がございましたらその情報について問い合わせください。その都度可能な範囲で3 営業日以内を目処に回答いたします。

3. 本町のシステム利用環境

- 職員数:約 250 名
- 現行業務サーバ:Nutanix
- Nutanix 上に構成している仮想マシンは以下のとおりです。詳細なリソースについては、参加申請書提出後に、参加申請書に記載されたメール宛に送付いたします。

項番	用途	系統
1	連携 AP (自治体基盤クラウド中間 DB 連携用)	マイナンバー利用事務系

2	資産管理	マイナンバー利用事務系
3	LGWAN 系メール	LGWAN 系
4	資産管理	LGWAN 系
5	LGWAN 系 RDS	LGWAN 系
6	LGWAN 系 ActiveDirectory①	LGWAN 系
7	LGWAN 系 ActiveDirectory②	LGWAN 系
8	ファイルサーバ	LGWAN 系
9	WSUS	LGWAN 系
10	ファイル交換	LGWAN 系
11	ファイル交換(SMB 連携用)	LGWAN 系
12	インターネット系 ActiveDirectory①	インターネット系
13	インターネット系 ActiveDirectory②	インターネット系
14	資産管理	インターネット系
15	プロキシ	インターネット系
16	ファイル交換 (SMB 連携用)	インターネット系
17	ファイル無害化	インターネット系
18	RDS①	インターネット系
19	RDS②	インターネット系
20	RDS③	インターネット系
21	RDS④	インターネット系
22	RDS ライセンス用	インターネット系
23	メール中継	DMZ 系
24	メール無害化	DMZ 系
25	メールリレー(LGWAN→インターネット)	DMZ 系

- 上記システムでの実現される機能を別の手法に変えることでさらなるコスト削減が期待できる場合は、そのご提案も歓迎します。
- LGWAN 系端末の導入状況:約 250 台

- インターネット系端末の導入状況：リモートデスクトップサーバ 4 台（項番 18～21）による LGWAN 系端末からの仮想化接続
- クラウドへの通信回線：ソフトバンク株式会社 SmartVPN および OnePort（調達済）
 - 正回線：帯域確保型 50Mbps
 - 副回線：ベストエフォート型 100Mbps

上記回線速度で問題ないか、増速が必要か、などの情報も、もし分かることがございましたら可能な範囲でご提供ください。

4. スケジュール

事 務	期 限	備 考
情報提供依頼書公開	令和 7 年 4 月 22 日 (火)	
参加申請書提出期限	令和 7 年 5 月 2 日 (金)	メールで送付してください
サーバ構成等詳細情報の提供	令和 7 年 5 月 8 日 (木)	メールにて町から送付します
質問受付期限	令和 7 年 5 月 27 日 (火)	メールで送付してください
質問に対する回答	令和 7 年 5 月 30 日 (金)	メールにて町から回答します
RFI 資料の提出期限	令和 7 年 6 月 18 日 (水)	メールまたは郵送で送付してください

5. 提出方法

5.1. 質問

任意様式の質問票にて、下記メールアドレス宛に送信してください。メールの件名は「RFI 質問提出(事業者名)」として送付してください。

なお、システム構成図や概算見積書の作成にあたって必要とする追加条件がある場合は、任意様式にてその都度お問い合わせいただいて構いません。参加申請書の提出期限前であれば質問

をいただいた全ての事業者様に、参加申請書の提出後は参加申請をいただいた全ての事業者様に回答いたします。

- 送信先: digital@town.mie-kihoku.lg.jp 企画課デジタル社会推進係宛

5.2. 書類の提出

以下の書類を作成の上、送付してください。

- 参加申請書: メールにて提出
 - 様式1
- RFI 資料: メールまたは郵送にて提出
 - 項番 2.1 から 2.4 の内容を可能な限り満たす任意様式

参加申請書および RFI 資料の送付先は下記のとおりとなります。

- メール
 - 件名
 - 参加申請書: 「RFI 参加申請書提出(事業者名)」
 - RFI 資料: 「RFI 資料提出(事業者名)」
 - 送付先: いずれも digital@town.mie-kihoku.lg.jp

※RFI 資料については受領後、受領した旨のメールを返信いたします。また、本町のメールシステムでの添付ファイルの容量は約 7MB となっております。超過する可能性がある場合はお手数ですが、事業者様が所有するファイル転送サービス等を使用してください。または、本町において大容量ファイル転送サービスを導入しておりますので、利用を希望される事業者様は利用の旨を申し付けください。速やかにアップロード専用 URL を発行いたします。

- 郵送
 - 提出先: 〒519-3292 三重県北牟婁郡紀北町東長島 769-1
紀北町役場企画課デジタル社会推進係 担当: 植村 宛

6. 前提条件

- 本 RFI は情報収集を目的としており、具体的には、次期システムサーバのクラウド上での構築の検討にあたっての意見徴収と技術的な情報の収集および費用感を知るためのものとなります。
- 本 RFI に参加いただくことで、今後本町が実施するあらゆる委託業務、調達業務におい

て有利になることも不利になることもありません。本 RFI に不参加の場合や、参加後都合により辞退した場合なども同様です。

- 本事業の方向性を固めるために情報提供依頼書の提出後、内容の詳細について追加で質問等をさせていただく場合がありますので、その際にご協力をお願いいたします。

7. その他

- 参加申込書提出後にやむを得ず辞退する場合は、任意様式での辞退届を提出してください(押印不要)。メールでの提出とし、送信先は「5.2.書類の提出」に記載のメールアドレスとしてください。
- 辞退届には辞退することとなった理由を簡潔に記載してください。
- その他、本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
 - 担当部署:紀北町役場 企画課デジタル社会推進係 担当:植村
 - 電話番号:0597-46-3113
 - メールアドレス:digital@town.mie-kihoku.lg.jp

以上